第２回 地域連携推進会議

ケアホーム悠々の里
第２ケアホーム悠々の里

≪開催日時≫
２０２６年１０月１４日（水）
13：30～15：30

≪参加者≫
利用者　　2 名
利用者家族　　１名
地域の関係者　　１名
福祉に知見のある方　　１名
施設職員　　２名

※当日体調不良にて欠席のため、後日資料を元に説明行いご意見を頂く。
利用者家族　１名　　計１名欠席

≪議題内容≫
・ケアホーム悠々の里・第２ケアホーム悠々の里の特徴・紹介
・出席者の紹介（各々より挨拶）
・入居者について
・活動状況について
・レク等行事報告
・入退所状況について
・入所者の年齢層等
収支報告
・水道光熱費及び食費について

≪議事録≫
収支（光熱水費）に関して、質問ではないが灯油代の高騰に関して家族・地域の関係者・福祉に知見のある方から「大変だよね」等の意見頂き会話が盛り上がる。
【地域の関係者】
・「協力ができることがあればお知らせください。」（具体的なことは省略）
・質問：このようなＧＨは札幌市に何か所くらいあるのですか？

→回答：400 弱。24 時間体制のＧＨ・アパートタイプ等色々な種類のＧＨがある旨
説明。高齢者のＧＨは 250 程度。
→福祉知見者回答：札幌市のＧＨを増やすと、地方で暮らしている入所希望者が
札幌に集中してしまい住み慣れた場所での生活が守られなくなる。
また、スタッフも札幌に集中してしまい、地方で働くスタッフの確保・スキル
アップが難しくなる。等補足説明頂く。

【家族】
・「面会の時はお部屋だけの訪問だったけれど、浴室や食堂など普段本人が生活している
場所をみることが出来て良かった。」
・質問：本人の気持ちが最優先だけど、生活訓練施設なんてありますか？
→同じ法人内の訓練施設の説明を行う。

【利用者】
・職員や施設に特に伝えることは無し。「満足している」「今の生活が良い」との返答。

【福祉に知見のある方】
・利用者への質問：施設で生活する方が大切なことの一つ、“人権が守られている事”
ですが、職員に命令される事や自分の意見が言いやすい環境にありますか？
→「ないよ。聞いてくれる。」「大丈夫です。」とそれぞれ返答。
緊張感は強くみられた。

会議終了後、施設の見学を行っていただいた。